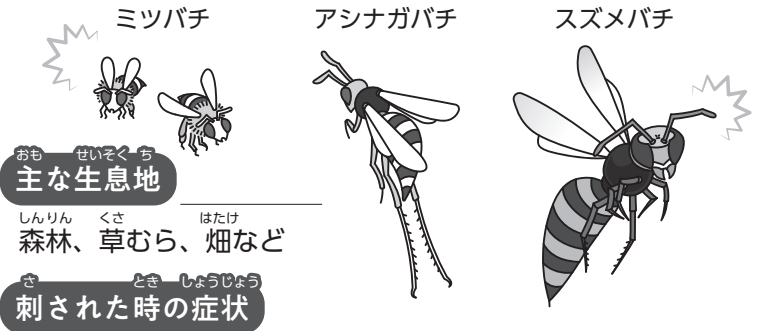


# 毒・感染 身近に潜む 危険な虫 File

身近にいる虫や節足動物の中には、人に害を与える毒や病原微生物を持つ種類があります。これらの生物に刺された（咬まれた）ときの症状・対応をまとめました。

## ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチ



### 主な生息地

森林、草むら、畑など

### 刺された時の症状

激痛、受傷部の腫れ、皮膚に残った毒針

(アシナガバチ・スズメバチの毒針は残らないが、ミツバチの毒針は皮膚に残ることがある)

### 対応

受傷部を水で洗い、冷やしながら受診する。

ミツバチの毒針が残っている場合は、可能であればピンセットなどで軽くつまんで抜く。

## セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモ、クロゴケグモ

セアカゴケグモ ハイイロゴケグモ クロゴケグモ



3種とも腹部の赤い斑点が目印

### 主な生息地

日当たりが良く、暖かい場所の物陰や隙間  
例) 花壇のブロックの隙間、排水溝の側面、自動販売機の裏など

### 咬まれた時の症状

鋭い痛み、患部の腫れ、激しい筋肉痛・けいれん（受傷後30分～2時間で発症）、発熱、吐き気、呼吸困難

### 対応

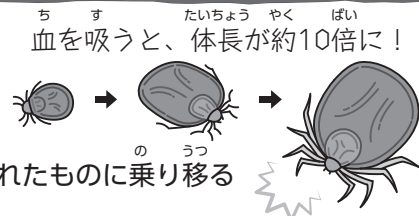
受傷部を水で洗い、ただちに受診する。

## マダニ

### 主な生息地

森林、草むら、畑など

草の先端に潜み、葉先に触れたものに乗る



### 咬まれた時の症状

多くは自覚症状なし

2～3日後にかゆみや軽い痛みが出ることも

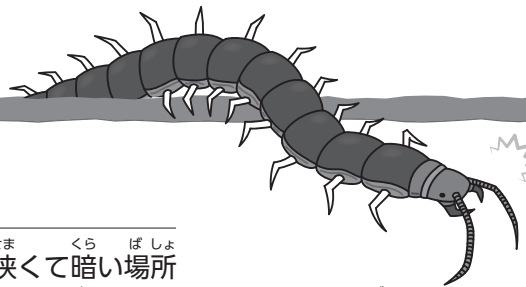
### 対応

マダニが皮膚に食いついたままの状態を受診する。

無理に引きはがすと、マダニの口器がちぎれて皮膚に残り、炎症や感染の恐れがある。

マダニが持つ病原微生物により、咬まれた後、重症熱性血小板減少症候群などの怖い病気を発症することも。受診後も、体調に異変があればすぐに受診を。

## ムカデ



### 主な生息地

湿気が多く、狭くて暗い場所  
例) 石垣の隙間、花壇のブロックの下、落ち葉の下など

### 咬まれた時の症状

耐えられないほどの強烈な痛み、受傷部の腫れ、頭痛  
体のだるさが出ることも

### 対応

受傷部を水で洗い、冷やしながら受診する。

## アナフィラキシーに注意

アナフィラキシーの発症原因として、食べ物の次に多いのが虫や節足動物による刺咬症です。大多数は受傷後30分以内に発症します。アナフィラキシーが疑われる場合は、ただちにエピペンを使用し、救急車を呼びましょう。